

浜松蒲サッカースポーツ少年団

第17回 蒲サッカーフェスティバル

U-12大会



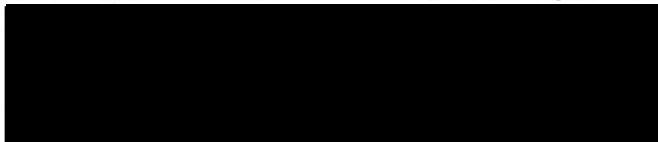
Since 1976

主催 : 浜松蒲SSS
主管 : 一般財団法人 静岡県サッカー協会4種少年委員会西部支部
後援 : 中日新聞 東海本社

日時 : 平成 28年 8月 27日(土)・ 28日(日)
会場 : 遠州灘海浜公園グラウンド

《 大 会 役 員 》

大会会長	鈴木 悦子	浜松蒲サッカースポーツ少年団団長				
顧問	江間 敏郎	浜松市立蒲小学校校長				
	氏原 章博					
	山田 裕司	浜松蒲サッカースポーツ少年団相談役				
実行委員長	栗田 誠司	浜松蒲サッカースポーツ少年団代表				
実行委員	磯部 聡	熊谷 晃廣	伊藤 賢志			
	川合 朝生	林本 政夫	中津川 哲司	中井 謙吾		
	伊藤 浩幸	鈴木 成光	中井 通人			
	匂坂 慎吾	袴田 美樹人				
運営委員	萩原 孝昭	浦中 正臣	山澤 友英	山根 俊明		
	海野 慎治	杉浦 麻美子	川合 由紀	児山 徹		
	井口 キミヨシ	清水 謙吾	山口 智子	鈴木 滋則		
	大石 大輔	高木 朋衣	西川 雅敏	渡辺 圭右		
	北嶋 紳吾	森下 寛士	中村 芳教	名倉 章雄		
	清水 孝則	東野 孝史	川井 孝夫	河上 孝		
	松野 修也					
	審判委員長	栗田 誠司				
	審判委員	萩原 孝昭	山根 俊明	大石 大輔	渡邊 圭右	
及川 春樹						
大会事務局 (連絡先)	〒435-0053 静岡県浜松市東区上新屋町109-8 萩原 孝昭 (浜松蒲サッカースポーツ少年団父母会 会長)					



浜松蒲サッカースポーツ少年団

第17回 蒲サッカーフェスティバル

U-12大会要項

- 主催** 浜松蒲サッカースポーツ少年団
主管 浜松蒲サッカースポーツ少年団父母会
後援 一般財団法人 静岡県サッカー協会 4種少年委員会西部支部
- 期日** 平成 28年 8月 27日(土)・28日(日) 雨天決行
- 会場** 遠州灘海浜公園グラウンド(中田島凧揚げ会場) 6面(80mx50m)
- 参加資格**
 - ・小学6年生以下で構成されたチームであること。
 - ・お弁当を購入して頂くこと。
 - ・スポーツ障害保険に加入していること
- 大会規則**
 - ・平成 28年度日本サッカー協会規則に準ずる。
 - ・試合は8人制とし、3ピリオド制を用いる。なお勝敗は前後半の結果とする。
 - ・選手人数並びに交代選手の制限はありません。
(選手登録用紙及び交代カードは使用しません)
 - ・ユニホームは、2着用意すること(ビブス可)。
 - ・試合球は公認4号ボールを使用する(大会本部にて準備します)。
 - ・大会中の負傷については、本部で応急処置を行うが、その後は各チーム保護者での対応をお願いします。
 - ・本大会において退場処分及び累積2回の警告者は、次試合に出場出来ない。
 - ・ベンチは、対戦表の前記のチームが、グラウンドに向かい左側を利用する。
 - ・両日も天候状態により給水タイムを設け、ランニングタイムにて実施する。
 - ・円滑な進行の為、試合終了後はセレモニー礼のみとし、お互いのベンチへの挨拶は無しとします。次対戦チームは時間前に準備をし、コート横で待機願います。
- 試合方法**
 - ・6コートにて進行。1日目A~Hブロック(8リーグ)に分け行う。
 - ・2日目は1日目の順位に従ってリーグ戦にて進行する。
- 試合時間** 17分-5分-17分-1分-13分(3ピリオド制)
勝敗は前後半で決定し、3本目はフレンドリーマッチとする。
- 審判**
 - ・1日目の審判は互審にて、1名ずつ出し合い主審と副審による審判二人制を実施します。
別紙、審判二人制概要をご確認ください。
 - ・2日目の審判は当団にて手配いたします。(地元高校サッカー部のユースレフリー)
参加各チームでのユースレフリー代のご負担のほどお願いします。
- 表彰** 啓介賞(優秀選手賞)・・・各チーム1名
各チーム2日目の試合終了後、優秀選手を本部に報告してください。
本部前にて優秀選手賞をお渡します。
- その他**
 - ・雨天決行とします(台風、豪雨等の場合は代表者に連絡させていただきます)。
 - ・開会式、閉会式は行いません。
 - ・大会参加費 10,000円
 - ・ユースレフリー代 1,500円
 - ・車は大会指定場所に駐車願います。駐車台数は1チーム8台までです。
 - ・今回よりグラウンド周り通路へ車は侵入できなくなりました。
荷物は駐車場より持ち運び下さい。
 - ・駐車の際は、フロントガラス前面にチーム名の駐車券を表示して下さい。

11. 熱中症について

- ・ WBGT = 31℃以上の場合は、試合時間の短縮や、開始時間の変更をすることがあります。
- ・ WBGT = 25℃以上の場合は〔Cooling Break〕※1または〔飲水タイム〕を行います。
- ・ 12時台のキックオフは熱中症対策のため、行いません。
- ・ 選手の体調を事前に管理して、より良いパフォーマンスが発揮できるよう、保護者様にもお伝えください。
- ・ 試合の空き時間は、休憩、休息ができるよう、チームで配慮願います。
- ・ 本部にて氷を準備しています。
体調が悪くなった方は、お分けいたしますので取りに来てください。
- ・ 管理棟の事務室は冷房が効いています。体調の悪い方のみ使用可能です。

※1

〔Cooling Break〕

前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に2分間の〔Cooling Break〕を設定し、選手は以下の行動をとる。

- ① 日影にあるベンチに入り、休む。
- ② 氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ③ 水等を飲む。

<留意点>

- ・ 原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレーの時に主審が判断して設定する。
- ・ 戦術的な指示も許容する。
- ・ チームが、カラダを冷やすための器具を持ち込む際は、事前に大会運営責任者の了解を得る。
- ・ 審判員は〔Cooling Break〕の時間を遵守するため、試合再開時には選手に速やかにポジションに戻るよう促すと同時に、出場選手の確認を行う。
- ・ サブメンバーは出場メンバーとの識別のため必ずビブスを着用する。運営担当者は試合再開時出場メンバーの確認について審判員をサポートする。
- ・ 〔Cooling Break〕の実施はランニングタイムで行います。
要した時間は前後半それぞれの時間に追加いたしません。
- ・ 〔Cooling Break〕を設定する場合は試合前またはハーフタイム時に両チームに伝達する。
また、WBGT 値に応じて、前半と後半の対応が異なる場合がある。

※ 参考

夏季においては WBGT31℃＝摂氏 35℃、WBGT28℃＝摂氏 31℃が目安となります。

第17回 蒲フェスティバル U-12参加チーム

1	前橋エコークラブ少年サッカー団	群馬県前橋市
2	EC FUJIMINO	埼玉県ふじみ野市
3	愛知フットボールクラブ	愛知県名古屋市
4	シルフィードフットボールクラブ	愛知県名古屋市
5	トライルサッカークラブ	愛知県瀬戸市
6	セントラル豊橋サッカースポーツ少年団	愛知県豊橋市
7	FC豊橋リトルJセレソン	愛知県豊橋市
8	豊明少年サッカー学校	愛知県豊明市
9	岐阜西スポーツクラブ	岐阜県岐阜市
10	城西FC	岐阜県岐阜市
11	エクセルシオール FC	沼津市
12	アスルクラロ沼津	沼津市
13	大富士フットボールクラブ	富士宮市
14	Vivace FC	静岡市
15	高部JFC	静岡市
16	TSV清水	静岡市
17	高洲南サッカースポーツ少年団	藤枝市
18	青島北サッカースポーツ少年団	藤枝市
19	初倉フットボールクラブ	島田市
20	相良サッカースポーツ少年団	牧之原市
21	榛南FCジュニア	牧之原市
22	オイスカフットボールクラブ	浜松市
23	Hondaフットボールクラブ	浜松市
24	カワイ体育教室サッカークラブ	浜松市
25	芳川サッカースポーツ少年団	浜松市
26	芳川北サッカースポーツ少年団	浜松市
27	浜松河輪サッカースポーツ少年団	浜松市
28	葵西フットボールクラブ	浜松市
29	浜松佐藤スポーツ少年団	浜松市
30	浜松飯田JFC	浜松市
31	浜松和田JFC	浜松市
32	浜松蒲サッカースポーツ少年団	浜松市

JFA2005年宣言

JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。
サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、
さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

JFAの約束2015

2015年には、世界でトップ10の組織となり、ふたつの目標を達成する。

1. サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが500万人になる。
2. 日本代表チームは、世界でトップ10のチームとなる。

JFAの約束2050

2050年までに、すべての人々と喜びを分かちあうために、
ふたつの目標を達成する。

1. サッカーを愛する仲間＝サッカーファミリーが1000万人になる。
2. FIFAワールドカップを日本で開催し、日本代表チームは
その大会で優勝チームとなる。

DREAM

夢があるから強くなる

